

【別紙】機能要件表

機能	No	要件	区分
メッセージ配信機能	1	「性別」「年代」「住んでいる地域」「知りたい情報」など利用者の属性を取得する登録フォームを構築し、利用者の嗜好に合わせて情報を配信できるようにすること。	必須
	2	利用者が開成町LINE公式アカウントを友だち登録したときに、自動でトーク画面に利用者属性の登録アンケートが表示されること。利用者はフォームに登録した情報を随時変更できること。	必須
	3	セグメント配信は、予約配信・定期配信ができること。	必須
	4	既読数や既読率の確認を行うことができること。	必須
	5	登録された属性に関わらず、アンケートや申請、予約等の回答内容に応じてセグメント配信ができること。	必須
メール連携機能	6	LINE連携用の特定のメールアドレスを作成することで、メールが送信された際に、その内容を自動的にLINEで配信ができること。	必須
	7	宛先となるセグメントは自由に設定することができること。	必須
	8	既読数や既読率の確認を行うことができること。	必須
リッチメニュー機能	9	トーク画面のキーボードエリアに画像付きのメニュー（リッチメニュー）を表示させ、指定のテキストの表示やURL等にリンクする設定ができること。	必須
	10	リッチメニューでユーザーがタップ可能な領域を任意の数で分割できること。また、複数枚で構成し、動的に切り替えができること。	必須
	11	リッチメニューのレイアウト変更等が職員が容易にできること。	必須
	12	トーク内でのユーザーのアクションに応じて切り替えができること。（例：防災メニューや職員専用メニューなど）	必須
申請・アンケート機能	13	意見募集や手続き等の申請・アンケートフォームを職員が作成できること。	必須
	14	申請・アンケートフォームの数に原則制限を設けないこと。	必須
	15	Excelにデータを入力し、インポートすることで容易に申請・アンケートフォームを作成することができること。	必須
	16	作成したフォームデータをCSV又はExcel形式でエクスポートできること。	必須
	17	利用者の回答結果データをCSV又はExcel形式でエクスポートできること。	必須
	18	申請があった時に、担当職員にメール通知する設定が可能であること。	必須
	19	ファイル添付機能、位置情報及び地図情報表示機能を含む申請フォームを作成できること。	
	20	公的個人認証サービスを利用した各種申請が行えること。	必須
	21	公的個人認証サービスはLINE公的個人認証サービス及びデジタル認証アプリと連携できること。	必須
	22	手数料や使用料などのキャッシュレス決済ができること。また、申請時、申請受理時等、決済のタイミングを選択できること。	必須
	23	キャッシュレス決済において、決済金額が不足する場合、追加で決済を依頼する機能を有すること。	必須
	24	補助金の決定通知などの文書を申請データから自動作成し、PDFファイルに出力できること。	必須
	25	作成した文書（PDFファイル）をLINEで通知できること。	必須
	26	申請の受付連絡、要望への回答、申請内容に不備があった場合のフォローアップ等、LINEを通じた利用者との双方向コミュニケーション機能を有すること。	必須
	27	申請内容の確認・修正までをLINEのトーク上で一貫して実現できる機能を有すること。	推奨

機能	No	要件	区分
チャットボット機能	28	シナリオ型チャットボットで利用者からの問い合わせの対応ができること。	必須
	29	チャットボットの作成、変更、削除を職員が随時行えること。作成可能数に上限を設けないこと。	必須
	30	利用者がチャットボットを操作する際、利用者自身でチャットボットを中断できること。	必須
	31	チャットボットを作成する際、csvファイルのアップロードによってシナリオを設定できること。また、シナリオはcsvファイルで出力できること。	必須
	32	生成AIに連携が可能であること。	推奨
	33	自治体ホームページ等を検索し、その情報を基に生成AIが住民の質問に自動応答する機能を有すること。	推奨
	34	生成AIを活用した総合案内をLINEおよび自治体HP上に設定可能であること。	推奨
防災機能	35	防災メールとの連携が可能であること。	必須
	36	QRコードの読み取り等による避難所チェックイン機能を有していること。	必須
	37	避難所の混雑状況や避難人数を住民に公開できること。	必須
	38	デジタル避難訓練や防災クイズなど防災意識を高めるコンテンツ作成ができること。	必須
	39	利用者の位置情報を中心に避難所を検索できること。また、検索結果は自由にカスタマイズすることができること。	必須
	40	気象庁が提供している「防災情報XMLフォーマット」と連携した自動配信が可能であること。	必須
	41	災害報告を受付後に生成AIによって優先順位の並べ替えが行えること。	推奨
ごみ機能	42	地域ごとのごみ収集日の通知機能を有すること。	必須
	43	地域ごとのごみカレンダーの表示が可能であること。	必須
	44	ごみ分別情報をチャットボットで自動回答できること。開成町が提供するマスターデータを学習させることができること。	必須
	45	粗大ごみ等、有料ごみの収集申請機能を有すること。手数料等の支払いは、キャッシュレス決済に対応していること。	必須
	46	職員は粗大ごみ等、有料ごみの収集申請状況をカレンダー形式で確認できること。	必須
	47	粗大ごみ等、有料ごみの申請状況のカレンダー形式での確認は月表示、週表示、日表示の切り替えが可能であること。	必須
	48	粗大ごみ等、有料ごみの申請状況の確認・キャンセルまでをLINEのトーク上で一貫して実現できる機能を有すること。	必須
	49	粗大ごみを販売するオンラインショップを開設できること。	必須
	50	粗大ごみ等、有料ごみの申請はLINEのトーク上で一貫して実現できる機能を有すること。	必須
	51	粗大ごみ収集場所を地図上で選択できること。	推奨
	52	AI機能を活用したごみの分別やごみカレンダーなどが多言語対応できること	推奨
地域ポイント機能	53	健康ポイント等、任意のポイントを利用者がLINE上で貯めることができること。	必須
	54	目標ポイントに到達した場合は、利用者へ通知を行い、景品交換等のアンケートに接続できること。	必須
	55	予約や申請、通報等LINE上で実装するすべての機能と接続し、手続き終了後にポイントが付与できること。	必須
	56	保有するポイントはいつでも利用者が確認できること。	必須
内部利用メニュー	57	職員の安否確認、公用車運転日誌機能など職員専用メニューを有していること。	推奨
	58	自治会長が自分の担当区域の自治会員にメッセージ送信するなどの自治会専用メニューや自治会閲覧板機能を有していること。	推奨
	59	消防団出動実績管理など特定団体の手続きや連絡に活用できること。	推奨
	60	職員の給与明細や、委員報酬などの明細書をLINE上で送付する機能を有していること。	推奨
	61	出退勤の打刻管理や、休暇申請など、勤怠管理機能を有していること。	推奨
双方向機能	62	自治体と利用者が双方向にやり取りができる機能を有すること。	必須
	63	双方向機能は、テキストメッセージ送付だけでなく、決済依頼や入力フィールドの表示の機能を有していること。	必須
	64	相談チャット機能を有すること。	必須
レポート機能	65	利用者がタップしたシナリオの選択ボタンなどの利用回数等を蓄積できること。	必須
	66	CSVまたはExcel形式でデータのエクスポートが可能なこと。	必須
	67	作成したレポートのCSVまたはExcelデータは、管理画面にログインすることなく、指定したユーザに対して、指定頻度で送信する機能を有すること。	必須
	68	蓄積したデータを管理画面上で確認ができる機能を有すること。	必須
	68	AIを利用して蓄積したデータを分析できること。	必須

機能	No	要件	区分
管理機能	69	システムの利用状況・配信状況などを蓄積し、管理画面で確認できる機能を有すること。	必須
	70	視覚的にわかりやすいレポート・ダッシュボード作成が可能であること。	必須
	71	レポート・ダッシュボードを作成した際、Excel等に出力せずに管理画面上でのグラフ表示等が可能であること。	必須
	72	行政委員会の委員等、利用者の属性を管理者側で設定できること。	必須
	73	利用者からの申請、アンケートや通報等があった際に、各業務担当部署にメールにより自動で通知できること。	必須
	74	管理者画面はLGWANアクセスに対応していること	推奨
その他	75	上記機能全般において英語、中国語、スペイン語等の多言語対応できること。	必須
	76	LINE未利用者向けに、上記機能をWebブラウザ上でも利用できること。	必須

【別紙】機能要件表（施設予約編）

機能区分	No	機能名	対象	要件	区分
登録	1	個人・団体登録	利用者	個人および団体での利用登録ができること	必須
	2	重複防止	利用者	新規登録時、氏名・生年月日等から登録が重複する場合に警告メッセージが表示されること。	必須
	3	区分自動判定	利用者	市内外割合に応じた区分自動判定ができること	必須
	4	減免率登録	利用者	減免率の登録および適用ができること	必須
	8	ユニークコード	管理者	登録者を一元管理するための一意のコードを付番すること	必須
	9	承認フロー	管理者	申請ごと、施設ごとに、職員承認フローを設定できること	必須
	10	団体区分	管理者	団体区分ごとに予約可能な施設及び予約可能コマ数を制限できること	推奨
	11	予約履歴管理	管理者	登録者ごとに利用実績（キャンセル含む）を確認できること。	必須
	12	ペナルティ	管理者	無断キャンセルに伴う一時的な使用停止等のペナルティ措置を簡易的に行うことができること。	必須
	13	ペナルティ	管理者	無断キャンセル回数や使用停止期間等の設定に基づき、自動的にペナルティ付与、解除等の措置を行うことができること	推奨
	14	利用許可証生成	管理者	利用許可証を自動でPDF生成できること	必須
	15	LINE送付	管理者	利用許可証をLINEへ直接送付できること	必須
空き状況確認	16	ログイン不要閲覧	利用者	ログイン不要で空き状況を確認できること	必須
	17	カレンダー機能	利用者	カレンダーから空き状況の確認ができること	必須
	18	施設カテゴリベースの検索	利用者	会議室、スポーツ施設等の施設類型で施設を横断して空き状況を確認できること	必須
	19	日付ベースの検索	利用者	指定した日付で施設を横断してき状況を確認ができること	必須
	20	カレンダー機能	管理者	管理者が管理画面から予約状況をカレンダーで確認できること	必須
	21	カレンダー機能	管理者	管理者の予約状況の確認は、月・週・日単位での確認制御が可能であること	必須
通常予約	22	予約申込・取消	利用者	LINE上で予約申込および取消ができること	必須
	23	料金自動計算	利用者	施設および備品料金を自動計算できること	必須
	24	料金自動計算	利用者	減免対象料金及び減免対象外料金を区分できること	必須
	25	決済	利用者	キャッシュレス決済又は後払い（現地支払い）を選択できること。また、予約後に支払い方法を変更できること	必須
	26	入力確認画面	利用者	申込完了前に確認画面を表示できること	必須
	27	複数枠の予約	利用者	同一の施設・予約日で、連続した枠の予約が可能であること	必須
	28	複数枠の予約	利用者	連続する枠を予約した際、自動でマージが可能であること	必須
	29	スマートロック連携	利用者	スマートロック機能と連携できること	推奨
	30	制御	管理者	登録できる施設数・室数に原則制限を設けないこと。	必須
	31	制御	管理者	予約可能期間を施設ごとに設定できること	必須
	32	制御	管理者	同一時間帯の重複申込を防止できること	必須
抽選予約	33	制御	管理者	半面・全面単位で予約制御できること	必須
	34	抽選申込・取消	利用者	抽選申込および取消ができること	必須
	35	結果自動通知	管理者	当選・落選を自動通知できること	必須
	36	繰上当選	管理者	キャンセル発生時に自動繰上当選通知できること	必須
仮予約	37	仮予約設定	管理者	仮予約受付設定ができること	推奨
	38	承認通知	管理者	本予約承認時にLINE通知できること	推奨
変更取消	39	予約確認・取消	利用者	予約内容確認および取消ができること	必須
	40	自動返金	管理者	取消時に自動返金処理ができること	必須
備品管理	41	備品予約	利用者	施設予約と連動して備品予約できること	必須
	42	在庫管理	管理者	備品在庫数に基づき制御できること	必須

機能区分	No	機能名	対象	要件	区分
通知機能	43	確認メッセージ	管理者	登録解除、キャンセル等の注意が必要な手続きを行う際、警告メッセージを表示することができること。	必須
	44	リマインド通知	管理者	予約前日にLINE通知できること	必須
	45	スマートロック連携	管理者	スマートロックのパスコードをLINE通知できること	推奨
	46	セグメント配信	管理者	予約日等でセグメント一斉配信できること	必須
	47	フォローアップ	管理者	予約者にLINE上でコンタクトをとり、双方向のコミュニケーションが可能であること	必須
	48	フォローアップ	管理者	利用者に対して、質問の回答依頼・不足金の決済依頼等をLINE上で送信ができること	必須
その他	49	スケジュール取込	管理者	予約情報のcsv取込ができること（行政の年間行事予定等）	必須
	50	利用状況分析	管理者	AIを利用して蓄積したデータを分析できること。	推奨
	51	Webブラウザからの利用	利用者	LINE未利用者向けに、上記機能をWebブラウザ上でも利用できること。	必須